

「もっともっと、もっと本気で」

校長 村岡 和志



自分が小学生の頃、親から（先生方からも）、注意されたこと。

例えば「しっかり歯を磨きなさい。」
「近いよ、テレビは離れて見なさい。」
「ちゃんと勉強しなさい。自分のことだよ。」

もし、自分がタイムマシンに乗って過去に戻れたら、間違いなく、小学校3年生の頃の自分に会いに行く。そして、子供の自分にこう語る。

「いいかい、和志。歯はしっかり磨くんだよ。朝昼晩、3回しっかり磨くこと。ちょこちょこっと磨いた真似はだめ。ちゃんと磨きなさい。今の時期にしっかり磨く習慣をつけておけば、むし歯は0だ。むし歯は決して自然には治らない。小5で奥歯はむし歯になりそうだから気をつけて。あと、目も大事にね。まだ、間に合うから。このままだと、中1から眼鏡をかけないといけなくなる。それから、勉強も。毎日毎日こつこつ続けること。今なら間に合う。未来の君を助けてくれるのは、今の君だ。小さな努力を日々積み重ねることが、必ず、君の人生を支えてくれる。勉強は、君の可能性を広げてくれる。家でも勉強をする習慣をつけておくんだよ。」

（今の自分のこと、健康のこと、勉強のこと、運動のこと、性格のこと。これでいいのかな、うまくいってるのかなって、考えてごらん。）

そして、想像して！ 自分の未来を。今、やらなくちゃいけないことが見えてきたかい？

子供の頃には分からない、見えないことがたくさんある。

もちろん、成長の中で少しずつ分かればいいこともある。

ただ、真に理解することが「早ければ早いほどいい」ことがあるのだ。

そのことを、すでに分かった私たち大人は、子供たちにもっともっと、もっと本気で伝えていこう。

「教育とは、流れる水の上に墨で文字を書くようなものだ」

だから、何度も何度も、何度も何度も、流れる水の上に、墨で文字を書き続けよう。

大人が子供に伝えることをあきらめない。子供たちの未来のために。

もっともっと、もっと本気で。



志布志「4.24」の日 4月24日（水）



「しぶしの日」にちなんで、志布志市の文化財管理室の大窪祥晃さんに来ていただき、「志布志の伝説と香月をさがせ」をテーマにお話を聞きました。天智天皇が地元の二人の女性から布を献上され、その布があまりに美しかったので上下にこころざしという字をつけ、「志布志」と名付けたことや「香月」という地域は、まだ、新しい地名ということが分かり、子どもたちは、とても興味深く聞いていました。歴史と伝統のある私たちの志布志市のことをさらに知りたいと感じたようです。

地震・津波・引き渡し訓練

5月11日（土）地震・津波・引き渡し訓練を実施しました。今回は、避難場所を確認するという意味もあり、歩道の避難となりましたが、迅速な避難ができました。また、保護者の方への引き渡しもスムーズに行うことができました。備えあれば憂いなし、自分の命をしっかりと守るための良い機会となりました。御協力ありがとうございました。次回は、11月5日津波防災訓練の日に行います。



6月主な行事予定 （変更の可能性もあります。）

- 3日（月）児童・教育相談週間
- 5日（水）内科・結核・運動器検診（1・2・3年）
- 8日（土）風水害避難訓練（引き渡し）
- 10日（月）学級費等集金週間
- 12日（水）歯科検診（4・5・6年）
- 13日（木）児童総会・クラブ活動
- 20日（木）スクールカウンセラーによる教育相談（午後）
- 28日（金）第1回学校保健委員会



※ 裏面もご覧ください。